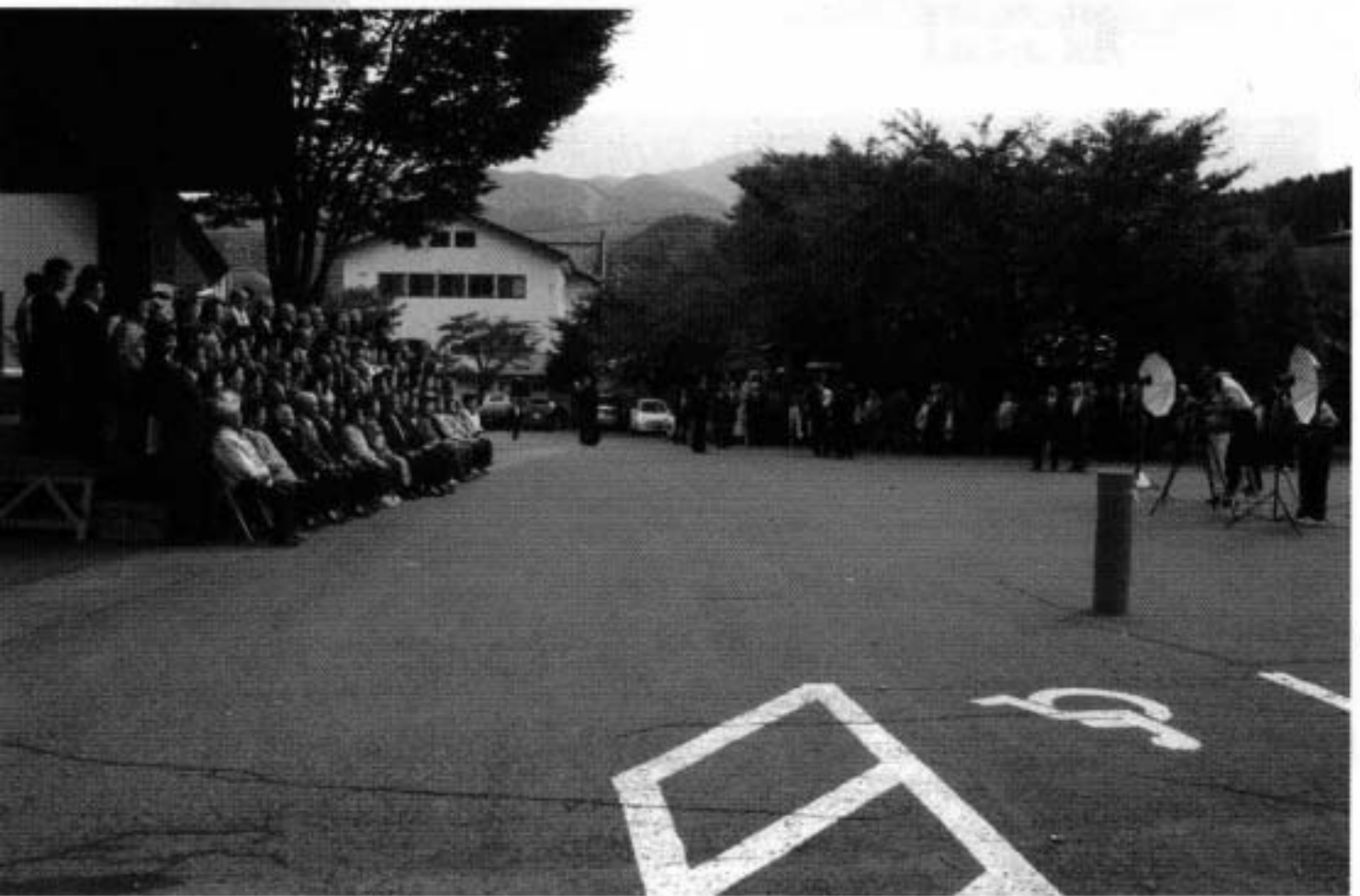


議会だより

かたしな

No. 118 平成20年11月25日発行



PHOTO

10月7日敬老会記念撮影の様子
(文化協会写真部の皆さんが協力して撮影)

主な内容

平成19年度決算認定・監査委員の審査意見	2~3
9月定例会で決めたこと(平成20年9月4日~11日)	4~5
村政を問う4名が一般質問	6~8
檜枝岐村議会との交流会	9
編集後記	10

武尊山観光開発(株)を オグナほたか指定管理者 に決定

第6回議会定例会は、9月4日から11日までの8日間の会期で開催しました。今議会から一般質問が冒頭に行われることとなり、4名の議員が質問に立ちました。

議案としては、議員派遣4件、条例関係7件、発議、物件売買契約、19年度決算、20年度補正予算、指定管理者の指定が提案され、いずれも原案どおり議決しました。



まちづくり交付金事業で整備中の吊り橋・他
(今年度完了予定)

平成19年度の一般会計及び6特別会計の決算を認定

一般会計

歳入決算額 44億1,693万円 歳出決算額 42億2,853万円

翌年度繰越額1億8,840万円(内、財政調整基金(預金)繰入れ9,600万円)

年度末村債(借入金)現在高 30億5,199万円

年度末基金(預金)残高 6億7,195万円

年度別決算状況表

(単位：千円)

区 分		平成17年度	平成18年度	平成19年度
歳入	決算額	4,104,609	3,632,630	4,416,933
	前年増減率	102.2%	88.5%	121.6%
歳出	決算額	4,000,547	3,528,726	4,228,531
	前年増減率	102.7%	88.2%	119.8%

特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入決算額		歳出決算額	翌年度繰越額
		内一般会計からの繰入金・補助金		
国民健康保険	806,111	47,555	783,959	22,152
老人保健	634,853	77,403	599,599	35,253
簡易水道事業	119,633	20,610	111,526	8,107
介護保険	327,492	50,404	315,784	11,708
下水道事業等	243,332	86,188	241,257	2,075
観光施設事業	445,464	179,000	463,525	△ 18,061
合 計	2,576,884	478,260	2,515,650	61,234

監査委員の審査意見

平成20年8月25日、監査委員による一般会計及び6特別会計の決算審査が行われ、その結果、計数は正確であり、決算は正しく、帳簿類は良く整備され、適切な事務処理と適正で健全な運営がなされているものと認定した。

◎ 総括

財政については、今年度から公表しなければならない健全化判断比率について大変良好な比率となっているので健全な財政であるといえる。

行政改革、地方分権、少子高齢化等への対応など様々な行政問題が山積する中ではあるが、議会と行政が一丸となってこの難局を乗り越え、住民の期待に応え活気ある村づくりが行われるよう期待している。



監査委員による決算審査の様子

【財政の健全化判断比率等の報告】

健全化判断比率については、一般会計の実質赤字比率及び特別会計を含めた連結実質赤字比率は赤字がなく比率は算出されない。

実質公債比率は11.9%、将来負担比率は、51.0%である。公営企業の資金不足比率については、すべての会計に資金不足はないので比率は算出されません。

平成20年度9月補正予算

単位：千円

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計	3,393,000	101,111	3,494,111
国民健康保険特別会計	744,524	11,995	756,519
老人保健特別会計	57,822	39,250	97,072
簡易水道事業特別会計	110,148	5,064	115,212
介護保険特別会計	320,027	11,607	331,634
下水道事業等特別会計	257,116	12,377	269,493
後期高齢者医療特別会計	51,089	500	51,589



ふるさと納税は尾瀬の郷片品村へ



毎月にやさしい尾瀬の郷づくりにあなたの方を



ふるさと納税の案内チラシ

(ふるさと納税に関する条例整備をし、補正予算を計上)

請願陳情審査結果一覧表

9月定例会

請願

受理年月日	件名	請願者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
平成20年 8月22日	国道120号線側溝蓋設置 のお願い	片品村東小川 区長 千明 清ほか2名	星 長命	観光産業	採 択
国道120号線丸沼付近の側溝蓋について、早急に対処していただくよう強く働きかける。					

陳情

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成20年 6月9日	インターネットにおける有害情報から、 子どもを守るための法整備の早期実現 を求める意見書提出についての陳情	家庭フォーラム 代表 新井英志		議員配布
平成20年 8月22日	社会保障関係費の2,200億円削減方針 の撤回を求める意見書採択についての 陳情	連合群馬沼田地域協議会 議長 中村一喜	総務文教	採 択
平成21年度予算の概算要求で、社会保障関係費の自然増8,700億円を6,500億円に抑制する 方針を撤回することを求める。				
平成20年 8月22日	生活品の物価高騰に対する緊急対策を 求める意見書採択についての陳情	連合群馬沼田地域協議会 議長 中村一喜	総務文教	採 択
生活品の物価高騰による国民生活の不安を解消し、安定を図るための緊急対策を求める。				
平成20年 8月22日	国による公的森林整備の推進と国有林 野事業の健全化への意見書の提出を求 める陳情	森林労連全国林野関連労働組合 利根沼田分会執行 委員長 中島龍児	観光産業	採 択
森林吸収源対策の推進・木材産業の振興対策・木材のバイオマス利用の促進等を進め、山村 の活性化となるよう関係機関に働きかける。				

* 上記の採択された3件の陳情に基づき、意見書を採択して
衆参両院議長と関係省庁に送付しました。

- ◆ 議員派遣の件
檜枝岐村議会との交
流会、栗市町村議員研
修会、利根郡正副議長
・正副委員長研修会、
議会広報研修会に全議
員を派遣します。
- ◆ 片品村尾瀬の郷づく
り寄付条例
(全員賛成)
- ◆ 片品村尾瀬の郷づく
り基金条例
(全員賛成)
- ◆ ふるさと納税制度に
基づく寄付金を適正管
理運用するための基金
です。
(全員賛成)
- ◆ 片品村税条例の一部
改正
公的年金からの個人
住民税の特別徴収及び
寄付金税額控除制度の
施行に伴う措置等、公
益法人制度改革に伴う
固定資産税の非課税措
置の申告規定の整備で
す。
(全員賛成)
- ◆ 片品村印鑑条例の一
部改正
印鑑登録証の交付履
歴管理を登録証の裏面
で行い、改印してもそ
のまま登録証を使用で
きます。
(全員賛成)
- ◆ 片品村手数料条例の
一部改正
改印申請手数料を3
00円を加える。
(全員賛成)
- ◆ 片品村特別職報酬等
審議会条例等の一部
改正
議会議員の報酬の支
給方法を、他の行政
委員等の報酬の支給方
法から分離し、議員の
報酬の名称を議員報酬
に改めました。
(全員賛成)
- ◆ 片品村営スノーバル、
オグナほかかの設置
及び管理に関する条
例の一部改正
指定管理者の指定に
より管理等を行うこと
ができるようにしまし
た。
(全員賛成)
- ◆ 物件売買の締結
第7分団に配置する
消防ポンプ自動車(1、
575万円)を購入し
ました。
(全員賛成)
- ◆ 片品村議会へ会議規則
の一部改正
「議案の審査又は議会の
運営に関し協議又は

調整を行う場」としての全員協議会を会議規則に規定しました。

(全員賛成)

◆オグナほかか指定管理者の指定

オグナほかか指定管理者として武尊山観光開発株式会社を指定しました。期間は本年10月から平成23年9月まで。武尊山観光開発(株)は武尊牧場・宝台樹両スキー場を運営し、すでに武尊牧場の村営観光施設の指定管理者となっております。

(賛成多数)

このような質疑をしました

〔19年度決算の認定〕

問 (大竹文夫議員)

決算の概要と成果報告書で給食センターの人員費が753万円増加と記載されていますが、なぜですか。

答 (教育次長)

その人員費は正職員

が19年度から配属されたために増えています。

答 (総務課長)

19年度に職員1名の調理員が増え、2名になったことで給与費が753万円に増えたものです。

〔片品村条例の改正〕

問 (萩原一志議員)

公的年金から天引きされた住民税は、社会保険庁から片品村に支払われるのか。未納分がある場合はどうなるのですか。

答 (住民課長)

公的年金から徴収されたものはそのとおりですが、未納分については普通徴収になります。

〔オグナほかか指定管理者の指定〕

問 (入澤登喜夫議員)

相手先の武尊山観光開発(株)との交渉内容・経過はどうなっていますか。

答 (村長)

5月21日に話をしました。

オグナほかかの経営を引き受け、臨時職員の雇用と地元業者からの物品購入を継続することをお願いしました。詳細については担当職員に確かめることを指示しています。

問 (笠原耕作議員)

指定管理者へ移行した場合、どのくらいの経費削減が見込まれますか。

答 (むらづくり観光課長)

相手先の見積りをもとに、試算すると約2千万円になります。

問 (星野侃三議員)

その程度の削減であれば、村営での営業努力でなんとかありませんか。

答 (村長)

村営か否かについては、地元でも様々な意見があることを承知しています。前の議会では、村営は止めるべきだという意見が多数でした。

そうした中で、19名の検討委員会を作り、

議員も含め地元から過半数の委員をお願いし

ました。検討の結果、指定管理者を目指すのがよいという答申をいただきました。

問 (大竹文夫議員)

武尊山観光開発(株)は、群馬県が最終的な決定権を持っている会社だと思えますがどうでしょうか。

答 (村長)

契約期間の終了後に、村長はどう考えていますか。

答 (武尊山観光開発(株))

は、県が大株主であり、県の意見を聞かなければなりません。この3年間では、しっかりと整備して、次の方向を示す場合でも常に営業できるようにしなければなりません。

武尊山観光開発(株)の企業努力で、今後も続けてほしいという数字が出ることを期待します。

問 (星野育雄議員)

指定管理者への委託条件で、村職員の出向

は行わないとあるが、スキー場に配属されている職員3名が実質的に増員となります。

また村の行政改革大綱では、平成21年と22年に新規職員採用者を3名予定しています。

この両者の関連を行政改革の視点からどう考えますか。

答 (村長)

3名の方には、引き続き職員として勤務していただきます。職員の削減計画との関連ですが、この間、何人退職しても採用は1人で、大幅に削減してきています。21・22年度も同様の方向であり、21年度には正規職員が100名を切りま

このような討論をしました

〔オグナほかか指定管理者の指定〕

反対討論

(星野侃三議員)

村営で営業継続して

ほしいと要望も花咲地区に強くあります。地区選出の議員として反対します。

賛成討論

(星 長命議員)

検討委員会で、何回も会議を重ねた結果の答申であり、それを尊重しての村長の提案です。

このままでは、今シーズンには経営がさらに悪化することが予想され、村の損失が大きくなります。私は本案に賛成します。

賛成討論

(高橋正治議員)

今後オグナほかかへ一般会計からの繰入れが続けば、村営ではやっていけないおそれがあります。

村長は検討委員会の答申をもとに決断したものと考えます。

武尊山観光開発(株)

は、長年の実績があり、地域の信頼も大きなものがあります。

私は本案に賛成します。

一般質問

4人村政を問う

◆ 中学校までの医療費を無料に

◆ 独身男性のお嫁さん対策を



飯塚 美明議員

主自立を守ることは大変厳しくなる。そんな将来的な危機感を持っている。
子どもの医療費を中学校卒業まで無料化するお考えはありますか。

また、これを実施する場合にどれ位の予算が必要となりますか。

答 (村長)

片品村としては、子育て支援の面から中学校までの無料化を、平成21年4月から実施する方向で検討したい。

必要となる予算については推計上の金額となり、誤解等のもとになるので回答できません。

問 村の男性30歳〜40歳の方の未婚者数と未婚率を教えてください。

豊かな自然の中で子どもを育てたいと考える若い人達もいると聞いている。

例えば、片品村と交流のある藤市、上尾市との間で出会い・交流の場を設け、カップルが誕生するような機会を行政サイドで検討してください。

答 (村長)

未婚者数と未婚率についてはデータがなく、こうした調査を村が行うことは行政事務としてできません。

行政は直接結婚の斡旋行為等できませんが、村民のみなさまが後継者対策やお嫁さん対策をする場合には、場所の提供や広報活動など、側面からできる協力をします。

村長 場所の提供や広告活動など、側面から協力

村長 平成21年4月より実施する方向で

問 生まれてくる子どもが久しくいない集落や、後継者のいない高齢者世帯の家も大変目につくようになってきた。後継者が家庭を持ち、子どもをつくり、育てる、この環境を作らない限り片品村が自

◆ 将来に向かっての学校運営・統廃合の検討は？



入澤 登喜夫議員

村長 教育委員会を中心に議論を

教育長 片品村教育振興基本計画を

入学児童予定数

平成20年5月1日現在

学校名 入学年度	学校名					合計
	片小	北小	南小	武小	合計	
平成21年度	26	7	7	4	44	
平成22年度	30	4	9	1	44	
平成23年度	16	6	3	0	25	
平成24年度	21	6	7	4	38	
平成25年度	14	7	2	2	25	
平成26年度	24	4	3	1	32	

問 将来に向かっての学校運営、また時代の変化に対応できる学校づくり、その中で学校・家庭・地域との連携、協力などの進め方について伺います。

問 活力のある子供の育成のために学校の統廃合の検討とともに、学ぶ意欲を育む授業、わかる授業の充実、社会性を育む教育などの充実が必要と考える。

そこで将来に向けての学校運営と時代の変化に対応できる学校及び子どもたちの育成と学校統合について村長のお考えを伺いたい。

次に、教育現場の指揮官として学校・家庭・地域との連携、協力などの体制づくりについて、教育長のお考えを伺いたい。

答 (村長)

教育三法が改正され、教育における教育委員会の責任を明確にし、保護者が安心して子どもを学校に預けうる体制を構築するため、教育委員会の体制の充実、教育行政の地方分権の推進等の規定が整備されました。

地方自治体においても、その地域の実情に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう務めなければならないと規定され、片品村においても、教育委員会を中心にして、国における教育改革の流れを踏まえつつ、時代変化に対応する学校づくりや地域の体制づくりなど片品村の教育のあり方全般について、保護者の皆さんや地域の方々とともに議論をしていきたい。

答 (教育長)

本村の学校教育では、学校支援隊や保護者の協力を得ながら地域の人材を教科学習や体験学習等に活かし、特色ある学校づくりを進めています。地域とのつながりを密に子どもたちの生きる力を育み、健全育成に取り組んでいるところです。

入澤議員の質問にある、学校・家庭・地域との連携、協力による体制づくりは、片品村の教育振

興を図る上で、極めて大切な機能であると理解しております。その際、学校・家庭・地域における様々な意見や考えを伺いながら総合的に検討を進め、「片品村教育振興基本計画」を策定したいと考えております。

問 過去には分校の統合ということがあります。その背景を踏まえた中で、当然、地域との連携の話合い等も持つて行くということで、今後の予定またこんな形でしていきたいということがあれば、村長に伺いたい。

答 (村長)

国あるいは県の動向をみながら片品村においては、教育委員会を中心として片品村の教育のあり方全般について、保護者の皆さんや地域の方々との議論をすすめるが考えていきたい。

問 教育長に伺いたい。

分校の統合があつたという中で、地域との話し合い、施設の利用また各学校に諸問題として今ある耐震の問題等について、伺いたい。

最後に、これからの片品村の未来を託す人材を育てるためには学校・家庭・地域の積極的な連携、協力が必要だと思いますので、これからも行政指導のもと片品村の未来が明るいものになることを期待します。

答 (教育長)

今の耐震化の問題につきましましては、9月補正に、まず中学校の体育館の耐震化工事を進めるための基本設計の予算を計上しております。

また、ほかにも該当する校舎等はございますので、村の財政事情を勘案しながらできるだけ早く整備していきたい。

◆ 農家への原油等の高騰による対策は

◆ 今年の灯油券は



星野 侃三議員

村長 県の免税軽油条例を活用

村長 国・県の動向を注視して

問 農家は、原油高騰によるガソリン・資材・肥料が昨年より上がっているにもかかわらず、収益は伸びていない。村では、何か対策を考えているか。また5,000円の灯油券について、今年はどうなりますか。

答 (村長)

群馬県では、農業用トラクター等の農業用機械にも免税軽油の使用を認める条例を8月制定しました。ぜひ、この制度を利用していただきたい。片品村の農業がより良い方向へ向かうことができるよう、関係機関一丸となって努力をして行く。

地方自治体が灯油等購入費の助成を行う場合、国は特別交付税で財政支援を実施しています。今年度につきましても、助成金額等、国・県の動向を注視し、万全を期していきたい。

問 今年も5,000円の灯油券を出すようでしたら、職員がその灯油券を配ってしまえば事務も1日で済むと思いますが。

答 (保健福祉課長)
個人情報保護条例に基づき個人の申請でなければ取扱うことができません。

◆省エネ等低炭素社会への取り組みは



吉野 勲議員

村長 地域性を活かし、環境に配慮したエネルギーの研鑽を

問 世界的に環境不安が叫ばれている中、環境保護の原点としての「尾瀬国立公園」を抱える片品村の責務として今何をすべきか、何をしなければならぬか、考える時期に来ています。

具体的な施策として公用車から順次積極的に低公害車を、できれば電気自動車を導入する、さらには公共施設に太陽電池パネルを設置する、片品村のPR面からも有効な手段の一つと思うがどうか。

答 (村長)

公用車への低公害車の導入については、今、各自動車メーカーは様々な方式で開発にしのぎを削っているところであり、コストの問題や社会インフラの問題等もあり、早期の実現には難しい状況である、ということであります。

片品村の第4次行政改革大綱でも公用車の削減に努めているところですが低公害車の意義を踏まえ十分な検討をしていきたいと考えております。

太陽電池パネルを設置することにつきましては片品村におけるエネルギー構造を十分把握し問題を分析した上で総合的な施策を推進していく必要があります。片品村の地域性を生かしたエネルギーについて研鑽を重ねて生きたいと考えています。

問 低公害車と自然エネルギーの活用につきましては、片品村としては是非積極的に取り組んでいただきたいと思えます。

その早期の実現が難しいのであれば、一般家庭から省エネ意識の高揚をはかる、例えば冷房の温度を1度上げる、一日は車を使わないなど、このようなことはお金もかからず今すぐにできる環境対策として有効だと思いがどうか。

また、「尾瀬国立公園」を有した片品村が環境問題にどのように取り組んでいくのか、それが今大変注目されていると考えます。内外にその具体的なアピールをすることが非常に重要です。

環境問題は広い意味では、村の各行政項目も該

当するわけですが、村民のために行政当局にはこれからも頑張っていたきたいと思えます。

答 (村長)

一般家庭からということですが申し上げましたように、片品村で300万円する軽の電気自動車を実用的であるかということもあり、いろいろな状況を見ながら検討をしていきたいと思えます。

平成18年3月定例会において、2名の村民を地方自治法違反として告発しましたが、平成20年10月20日付けで前橋地方検察庁より次のような処分通知書が届きました。

処分区分 不起訴(起訴猶予)

● 檜枝岐村議会との交流会開催

◆ 9月24日(水) ～ 25日(木) 新潟市にて



国道401号線の改良整備促進について協議をしました。
 昨年檜枝岐村で行った協議では、片品村の奥鬼怒林道と檜枝岐村の実川林道をトンネル等で結ぶ路線として図面の中に線を入れ、昨年11月発行の議会だよりで、お知らせをいたしました。更なる協議を進める中で、この場所での路線案には無理が生じているので、予定地を開き、この中で最適な場所で開通を目指すことになりました。

また、近年多くのシカが尾瀬に出没し、大江湿原においてニッコウキスゲ等の貴重な植物が食害により、大切な湿原が荒らされているがシカ駆除の柵設置も計画されていることが報告された。
 今後も両村の連帯を密に図り、英知を結集して、尾瀬の保護と401号線の早期開通に向け努力をしていくことを確認しました。

● 管内視察及び現地調査を実施

9月10日議員全員で、繁殖著しいサルにより、農作物に多大な被害が発生している、菅沼・築地・東小川地区と、片品村の奥鬼怒林道と檜枝岐村実川林道を結ぶ401号の取り付け予定箇所、並びに大清水から一ノ瀬間の旧会津街道の一部を含む遊歩道についての3か所を現地調査しました。
 サルについては、関係する皆様に協力をいただき、現在、緊急的な対策は講じておりますが、全村に渡つての長期的な対策を確立し、有害鳥獣から農作物を守っていくことが必要です。

奥鬼怒林道については、人念に調査を行いました。開通は両村の長年の大きな課題であるので、一日も早い開通に向け、関係機関に強く働きかけをしていかなければならないと思います。

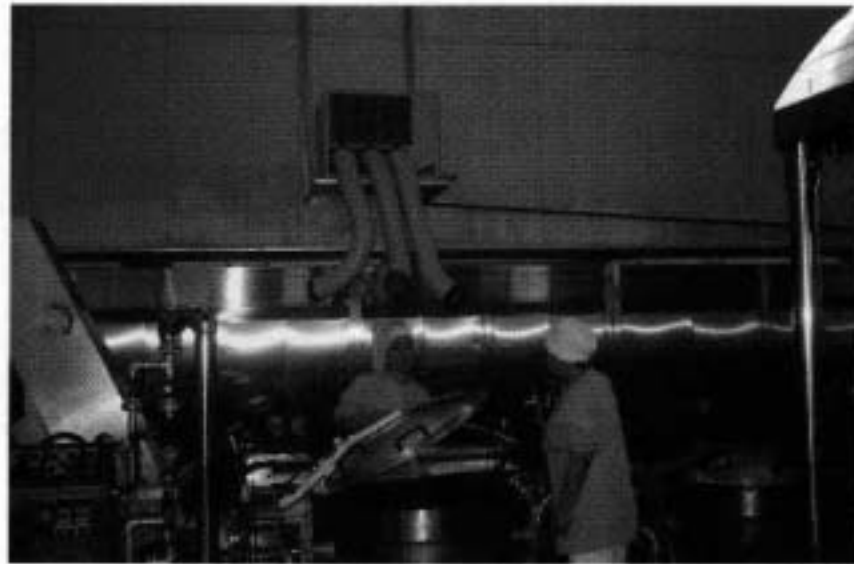
大清水から一ノ瀬間の遊歩道については、尾瀬の入山者が鳩待峠に最も集中している今、入山者分散化対策のためにも早い歩道の整備が望まれます。

合わせて車道の整備も必要であります。無公害車等で入山者を一ノ瀬まで輸送を行い、大清水口からの尾瀬入山者増を図ることが必要と考えられます。



サルによる被害調査(菅沼)

◎片品村給食センターにエアコンが設置されました



給食センター調理室に設置されたエアコン

食中毒予防や労働条件の改善等、かねてより片品村給食センターから要望がありましたので、過日、総務文教常任委員会で視察を行いました。何よりも片品村の子供たちのためであり、村当局も早急な対応を快諾していた

いただきました。設置も終了し、清潔で快適な給食センターになりました。

【臨時会】

第7回臨時会を開催しました。

日時 平成20年10月23日(木)

教育委員1名を任命しました。

星野 和子氏(花咲)



●編集後記●

アメリカ発の金融不安により、世界経済は先の見えない泥沼の様相を呈しています。景気への深刻な影響は地域経済へも暗い影を落とされています。観光と農業を柱とするわが片品村への影響が心配されるところです。そのような中でも、一気に4人もノーベル賞受賞者が日本人から生まれた喜びは久々に日本中を勇気づけた明るいニュースでした。秋も深まってきましたが、多くの農産物が豊作でありますように、そして冬のスキー場が千客万来であることを期待してやみません。

〔吉野 勲記〕

発行責任者 片品村議会議長 吉原野正
編集委員 萩原野正千完
◎ 高橋野長文
○ 星野竹原日
○ 星野大萩
印刷所 笠原印刷有限会社

お知らせ ◎ 次回定例会 12月5日(金)～12日(金)の予定です。一般質問は、5日の予定です。みなさんの傍聴をお待ちしています。【問い合わせ TEL 58-2119】

議会だより・会議録がホームページで見られます。
URL: <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>